

年間経済日誌

2015年1月～12月の主な出来事（新聞記事より）

熊 本

1.22 八代港、2014年国際コンテナ取扱量 過去最高

県のまとめによると、八代港における2014年の国際コンテナ取扱量は前年比30.7%増の1万8,046個と、国際貨物の取り扱いが始まった1999年以降、最高となった。

2.9 2014年移住希望地域ランキング、熊本県6位

首都圏から地方への移住を支援するNPO法人ふるさと回帰支援センターの発表によると、熊本県は2014年の移住希望地域ランキング6位で、九州最上位だった。

2.28 県民百貨店、閉店

県民百貨店が閉店した。1973年10月「岩田屋伊勢丹ショッピングセンター」として開業後、屋号を変えて営業していたが、桜町地区再開発事業に伴い、42年の歴史に幕を下ろした。

3.2 ラグビーW杯日本大会、熊本開催へ

2019年のラグビーワールドカップ（W杯）日本大会の開催地が、熊本県・熊本市（うまかな・よかなスタジアム）など12都市に決まった。

3.23 JR九州、熊本駅ビルの基本構想発表

JR九州は、0番線ホーム跡地などを含む約7万㎡に、複合商業施設「アミュプラザ」、ホテルなどが入る駅ビルやマンションなどを建設する熊本駅再開発の基本構想を発表した。

3.31 熊本市営バス、運行終了

民間への路線移譲を進めてきた熊本市営バスは、1本だけ残っていた「小峯京塚線」の運行を熊本都市バスに譲渡し、88年の歴史に幕を下ろした。

3.31 センタープラザ、閉店

熊本市中央区の桜町地区再開発事業に伴い、県内唯一の地下街「熊本交通センタープラザ」が閉店した。

4.1 熊本県内バスIC乗車券、運用開始

県内の交通事業者5社が導入した熊本地域振興ICカード（愛称・くまモンのICカード）の運用が始まった。

4.24 「相良700年が生んだ保守と進取の文化」、日本遺産認定へ

文化庁は、全国各地の有形無形の文化財を地域やテーマごとにまとめた「日本遺産」に、人吉球磨地域10市町村の「相良700年が生んだ保守と進取の文化」など18件を初認定した。

5.1 熊本市、桜町再開発事業を認可

熊本市は、九州産業交通ホールディングスが熊本市中央区桜町地区で進める熊本交通センター一帯（約3.7ha）の再開発事業の施行を認可した。

5.30 人吉鉄道ミュージアム、開館

人吉市がJR人吉駅前に建設を進めていた観光交流施設「人吉鉄道ミュージアムMOZOC Aステーション868」がオープンした。

6.30 熊本交通センターホテル、営業終了

熊本交通センターホテルは、桜町地区再開発事業に伴い、昼のレストラン営業を最後に46年の歴史に幕を下ろした。

7.23 アジア最大のクルーズ船、八代港に初寄港

アジアに就航する最大の客船で、世界第2位の大きさを誇るクルーズ船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」（約16万8千トン）が、八代港に初寄港した。

8.25 台風15号、県内直撃

強い台風15号は25日午前6時すぎ、荒尾市に上陸した。県内上陸は1999年の台風18号以来、16年ぶり。県の発表によると、農林水産関係の被害額（確定値）は87億5,900万円だった。

9.11 ホンダ熊本製作所、ミニバイク生産開始

ホンダ熊本製作所は、中国から移管したミニバイク（排気量50cc）「ジョルノ」の生産を開始した。2016年度末までに、ベトナムで生産する2車種の生産も熊本に移管する予定。

9.14 阿蘇山噴火、警戒レベル入山規制に引き上げ

阿蘇山の中岳第1火口で噴火が発生した。気象庁は火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げた。

9.30 熊本交通センター、営業終了

熊本交通センターのバスターミナルは、桜町地区再開発事業に伴い営業を終えた。ターミナル機能は1日から、現ターミナル東側の旧市道沿いを中心に27ヵ所の乗降場に移った。

10.1 九州フィナンシャルグループ設立

肥後銀行と鹿児島銀行は経営統合し、持ち株会社「九州フィナンシャルグループ」を設立した。総資産は8兆8千億円を超え、九州で2位、全国で8位の地方銀行グループとなる。

10.23 I K E A 熊本、開店

スウェーデン家具大手イケアの日本法人、イケア・ジャパンは、熊本市内に国内初の小型店「I K E A Touchpoint 熊本」を開業した。

10.25 熊本-高雄間の定期便就航

熊本と台湾第2の都市、高雄を結ぶ中華航空の国際定期便が就航した。熊本空港の国際定期便就航は2003年9月の韓国ソウル線以来、12年ぶり2路線目。

10.25 ジェットスター、熊本-中部線運休

格安航空会社（LCC）のジェットスター・ジャパンは、熊本-中部線を運休した。利用者が伸び悩み、2014年10月26日の就航から1年で運休となった。

11.12 嘉島町に九州最大の農業法人発足

嘉島町の6つの集落営農組織が統合した農事組合法人「かしま広域農場」が発足した。町内の393農家が参加し、農地面積は約480ヘクタールと九州で最大規模になる。

12.14 熊本空港、免税手続き専用カウンター開設

熊本空港は、外国人旅行者が国内線ターミナルビルの土産物店で購入した商品の免税手続きを一括で行う専用カウンターを開設した。

12.14 熊本-香港間の定期便就航

熊本と香港を結ぶ香港航空の国際定期便が就航した。熊本空港の国際線は、アジアナ航空のソウル線、10月に就航した中華航空の高雄線に続き3路線になった。

1.8 2014年車名別国内新車販売、「タント」首位

日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車協会連合会の発表によると、2014年の車名別国内新車販売は、ダイハツ工業の軽自動車「タント」が首位になった。軽がトップは6年ぶり。

1.20 2014年訪日外国人旅行者数、1,341万人

日本政府観光局が発表した2014年の訪日外国人旅行者数は、前年比29.4%増の1,341万3,600人と2年連続で過去最高を更新した。

2.10 2014年農林水産物輸出、6,117億円

農林水産省の発表によると、2014年の農林水産物・食品の輸出額が6,117億円となり、1955年に統計を取り始めて以来初めて6,000億円を突破した。

3.1 会社説明会解禁

2016年春の採用に向けた企業の会社説明会が解禁された。経団連の日程ルールが変わり3ヵ月遅くなった。面接などの選考活動の解禁も4ヵ月繰り下げられ、4年生の8月1日になった。

3.14 北陸新幹線、開業

北陸新幹線の長野-金沢間が開業した。東京-金沢間は最速2時間28分、東京-富山間も2時間8分で結ばれ、これまでよりそれぞれ1時間19分、1時間3分短縮された。

3.19 福岡パルコ本館増床部、グランドオープン

「福岡パルコ」本館の増床部がグランドオープンした。増床部は「ソラリアステージビル」の地下1階と4階～7階の計5フロアで、九州初出店の14店舗を含む計27店舗が出店した。

4.1 2014年度新車販売台数、6.9%減

日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車協会連合会が発表した2014年度の新車販売台数は前年度比6.9%減の529万7,110台となり、4年ぶりに前年度実績を下回った。

4.16 JR大分駅ビル「JRおおいたシティ」開業

JR大分駅の新たな駅ビル「JRおおいたシティ」が開業した。地上21階地下1階で、商業施設、ホテル、温浴施設などが入る大型の複合施設となり、売上高190億円を目指す。

4.30 2014年度住宅着工戸数、5年ぶり減

国土交通省が発表した2014年度の新設住宅着工戸数は、前年度比10.8%減の88万470戸だった。前年度比マイナスは2009年度以来5年ぶり。

5.4 明治日本の産業革命遺産、世界遺産へ

ユネスコの諮問機関「国際記念物遺跡会議」は、「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録を勧告した。構成資産は熊本県の万田坑・鉄道敷跡や三角西港を含む8県23施設。

5.29 口永良部島で爆発的噴火、全島避難

鹿児島県口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生した。気象庁は噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げた。屋久島町は全島に避難指示を出した。

6.1 地理的表示保護制度、開始

農産物や食品などの産地名や製品名を国に登録する地理的表示保護制度が始まった。登録を受けた産品は、政府が認めたことを示す「GIマーク」を表示することができる。

6.24 日経平均株価、ITバブル期の高値超え

東京株式市場で日経平均株価の終値が2万868円03銭となった。2000年4月12日につけたITバブル期の高値（2万833円21銭）を上回り、1996年12月以来約18年半ぶりの高値となった。

7.21 福岡空港、国内線の新ビル着工

福岡空港の新しい国内線ターミナルビルの起工式が行われた。航空会社ごとに出発・到着口を集約するほか、展望デッキのある公園も整備する。完成予定は2019年3月。

8.8 JR九州、「或る列車」運行開始

JR九州は、乗客がスイーツを楽しめる観光列車「或る列車」の運行を始めた。10月まで大分-日田間で週末を中心に1日1往復運行し、11月には長崎-佐世保間を運行する。

8.11 川内原発1号機、再稼働

九州電力川内原子力発電所1号機は原子炉を再稼働した。新規制基準下で初の再稼働で、関西電力の大飯原発3、4号機の稼働停止以来、約2年ぶりに原発ゼロが解消した。

9.1 イオン、九州のダイエー店舗継承

イオン九州とマックスバリュ九州は、九州内のダイエー38店舗を引き継いで営業を始めた。県内の総合スーパー「ダイエー熊本店」は、「イオン熊本中央店」に名称変更した。

10.1 ファミマ、ココストア買収

ファミリーマートは、中堅コンビニエンスストアチェーンのココストアを買収し、完全子会社化した。

10.5 TPP大筋合意

日本や米国など環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉参加12カ国は、米アトランタで開いた閣僚会合で、協定内容について大筋合意に達した。

11.4 郵政3社、上場

日本郵政と傘下のゆうちょ銀行、かんぽ生命保険は、東京証券取引所第1部に株式を上場した。3社の初値はいずれも上場前に売り出した価格（公開価格）を上回った。

11.11 MRJ初飛行

三菱航空機の国産ジェット旅客機「MRJ」の試験機は、初飛行に成功した。国産旅客機の初飛行は、1962年8月のプロペラ機「YS11」以来、半世紀ぶり。

11.18 免税店数、1年で3倍超

日本政府観光局によると、訪日客が買い物する際に消費税が免除される全国の免税店は10月1日時点で2万9,047店となり、1年前の9,361店から3倍以上に増えた。

12.8 クルーズ船訪日客数、100万人突破

クルーズ船で全国の港から入国した外国人客数が、1月からの累計で100万人を突破した。国土交通省によると年間100万人超えは初めて。

12.12 軽減税率、食品全般で合意

自由、公明両党は、消費税率を10%へ引き上げる2017年4月から、生鮮食品に加工食品を加えた食品全般に8%の軽減税率制度を導入することで正式合意した。